



小林義文
薬剤部長

染を完全に防ぐことはできないので、接種後も安心せず感染予防を心掛けてほしい」と注意を促している。
小林薬剤部長によると、ワクチンはウイルスの毒性を弱めた「生ワクチン」と毒性をなくしたウイルスを

医療最前線 2021年4月の鍵 県立中央病院から

〈221〉

新型コロナウイルスの収束に向
け、山梨県内でも医療従事者を対象
にワクチン接種が行われ、今後、高
齢者や一般の接種が順次始まる。県
立中央病院の小林義文薬剤部長（薬
剤師）はワクチンについて「過度に恐
れる必要はない」と強調。一方で「感

い仕組みとなっている。

注射することで免疫となる抗体の
産生が促され、ウイルスの突起（ス
パイク）とヒトの細胞の結合を抑制
する効果がある。新型コロナウイルスに感染
した場合、速やかな免疫反応により
重症化リスクの軽減が期待されると

副反応は1〜2日程度

ワクチン 過度に恐れず

いう。

一般的なワクチンと同様にファイ
ザー製ワクチンでも副反応があり、
接種部位の痛みや腫れ、疲労、頭痛、
筋肉痛などの報告がある。県立中央
病院では、医師や看護師、臨床検査
技師、放射線技師ら、新型コロナウイルス患
者の治療に携わる医療従事者を中心
に575人が2回目の接種を進めて
いる。現時点までに重篤な副反応は
出ていない。

副反応は通常、接種後2日以内に
始まり、1〜2日で収まるといい、
「免疫の機能が働いて効果が出てい

るこの表れ」と説明。利用するメ
ッセンジャーRNAは免疫を活性化
させる役割を終えた後、分解されて
体内に残ることはないという。

一方、重いアレルギー反応である
「アナフィラキシーショック」は1
00万回に5回という報告がある。

このため、国は接種後は15分以上施
設で待機するように求めている、体調
に異常を感じた場合は速やかに医師
に伝えることが大切だ。「適正な対
応を行えば生命に関わることはな
い」

ファイザー製ワクチンは開発段階
の臨床試験で発症率を95%抑えたと
の結果が出ているが、「ワクチンは
感染しても重症化を防ぐもの」と指
摘。「完全な予防薬」ではなく効果
の持続性も現時点ではデータが少な
いため「ワクチン接種後も手洗い、
マスク着用、3密の回避、換気を心
掛けてほしい」と呼び掛ける。

◇

新型コロナウイルス収束に向けた
動きや取り組みを県立中央病院の医
療従事者に聞く。

＝第2、4木曜日に掲載します

ワクチンの作用

